

2026 年 1 月 15 日

（お詫び）定期検査周期の超過について

相模鉄道株式会社

相模鉄道(株)（本社・横浜市西区、社長・千原 広司）では、下記区間の定期検査の一部において、本来実施すべき期間を超過していたことが判明いたしました。

運行への安全性については、問題が無いことを確認しております。

ご利用のお客さまには、大変ご心配をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 当該区間

相鉄本線 西谷駅～鶴ヶ峰駅間約 350m（上下線）および鶴ヶ峰駅～二俣川駅間約 650m（下り線）

2. 定期検査内容

軌道状態検査（遊間検査）

※遊間…線路と線路の継ぎ目の隙間

3. 状況

鉄道施設については、鉄道営業法に基づき、定期検査の実施が義務付けられており、当社においては、遊間検査は 1 年を超えない期間ごとに実施することとしていますが、当該区間では最終検査から約 2 年経過していることが判明いたしました。なお、遊間検査以外の定期検査は適切に実施しておりました。

4. 原因

遊間検査については、保守担当部署が年間計画に基づき実施していますが、当該区間は工事担当部署にて工事を実施中であり、同区間の遊間検査の実施に関して保守担当部署と工事担当部署の間で認識の相違が生じ、遊間検査の実施を失念していました。

5. 対策

遊間検査を 2025 年 12 月に実施し、運行への安全性に問題が無いことを確認いたしました。今後、関係者と原因を検証し、再発防止に努めてまいります。

以上